

# 令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	音楽Ⅱ(選択)				
教科	芸術科	単位数	2単位	学年・コース	高校2年 進学(文系)
使用教科書	高校生の音楽2(教育芸術社)				
副教材等	「改定新版高校生のソルフェージュ(音楽之友社)」「MY SONG(教育芸術社)」「高校生のための音楽研究ノート(教育芸術社)」				

## 1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

様々な音楽活動をする上で必要な音楽の能力を高め、創意工夫を生かした音楽表現が出来るとともに文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりなどを踏まえて、音楽について考える力を身に付けます。

日本や世界の音楽に触れることで、様々な価値観をもつ音楽に対しても、広い視点からそれらの音楽の良さを感じ取り、音楽の多様性について理解を深めます。

ソルフェージュの学習を通して歌唱・器楽・創作などの音楽活動への理解を深め、様々な活動を通して感性を豊かに育み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽文化に親しむことを目標とします。

## 2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	青春と音楽 校歌	発声の確認 暗譜・発声の確認	10月	器楽 ピアノ 民族と音楽(2) 世界の旅	実技考查 ピアノ 定期考查で理解度を確認
5月	民族と音楽(1) 日本のこころ ソルフェージュ	定期考查で理解度を確認 定期考查で理解度を確認	11月	芸術と音楽(1) 劇と音楽	定期考查で理解度を確認 定期考查で理解度を確認
6月	4分音符と休符、単純拍子 歌唱 人間と音楽 ソルフェージュ	単元テスト 実技考查(独唱) 活動状況を観察	12月	ソルフェージュ 付点、合唱、音程、複合拍子	単元テスト 2学期末期末考查
7月	8分音符と休符、記譜、音名 ソルフェージュ	単元テスト 1学期末考查	1月	アンサンブルを楽しもう ソルフェージュ 臨時記号、奏法記号、切分音	単元テスト 定期考查で理解度を確認
8月	器楽 カリンバ	奏法の学習及び練習状況の観察 アレンジを通して音楽性を観察	2月	芸術と音楽(2) 言葉と音楽 ソルフェージュ	定期考查で理解度を確認 実技考查(歌唱)
9月	ソルフェージュ 3連符、16分音符、付点、音程	単元テスト	3月	長・短音階、調の判定	学年末考查

## 3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

### ①【知識・技能】

[知] 音楽の構造、歌詞、言葉の特性、曲種に応じた発声と曲想の関りについて理解している。

[技] 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。

### ②【思考・判断・表現】

[思] 音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したたこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。

### ③【主体的に学習に取り組む態度】

[態] 作曲家による「演唱法」の説明に基づいて、表現を創意工夫する学習に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

上記の3観点のA. B. Cの組み合わせから5段階評定を算出します。

定期考查は各学期末に筆記試験を実施。内容は「西洋音楽史」「楽典」「楽曲」について。実技考查は5月、10月、2月に実施。各学期の評価として総合的に判断します。

また、1年間の評定は、上記の内容から総合的に判断され決まります。

## 令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	美術Ⅱ(選択)				
教科	芸術科	単位数	2単位	学年・コース	高校2年 進学(文系)
使用教科書	高校生の美術2 (日本文教出版)				
副教材等	ターナーアクリルガッシュ、サクラマット水彩、木彫材ペーパーナイフ、マルイチ彫刻刀3本組、粘土アーチスタッフォルモ、サンフラワーペーパーM画用紙、KMKケント紙				

### 1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。  
 ②造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ることができるようにする。  
 ③主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

### 2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	オリエンテーション 点描画		10月	模刻 モノタイプ	模刻作品 コンセプトカード
5月	点描画		11月	モノタイプ	
6月	点描画		12月	モノタイプ 2学期期末考査	モノタイプ作品 コンセプトカード 2学期期末考査
7月	点描画 1学期期末考査	点描画作品 コンセプトカード 1学期期末考査	1月	木のカタラリー	
8月			2月	木のカタラリー	
9月	模刻		3月	木のカタラリー 3学期期末考査	木のカタラリー作品 コンセプトカード 3学期期末考査

### 3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能                      ② 思考・判断・表現                      ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能      [ 期末考査筆記の点数、授業課題の構成力や技法の知識をもとに評価する。 ]  
 ② 思考・判断・表現 [ 期末考査実技の点数、授業課題の意図や表現をもとに評価する。 ]  
 ③ 主体的に学習に取り組む態度      [ 授業態度や、追加課題、コンセプトカードをもとに評価する。 ]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

## 令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	書道Ⅱ(選択)				
教科	芸術科	単位数	2単位	学年・コース	高校2年 進学(文系)
使用教科書	書道Ⅱ(教育出版)				
副教材等	くらしのペン習字(教育図書株式会社)				

### 1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

① 書の実現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。〔「知識及び技能」の習得〕 ② 書よみや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書のみを味わいとらえたりすることができるようにする。〔「思考力、判断力、表現力等」の育成〕 ③ 主体的に書の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり書を愛好する心構えを育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書をおして心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 <span style="float: right;">〔「学びに向かう力、人間性等」の涵養〕</span>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	書のみを求めて 書のみに関わること	プリント 臨書作品	10月	争坐位稿・蜀素帖 灌頂歴名	プリント 臨書作品
	篆書の学習 石鼓文 召尊(金文)	プリント 臨書作品		楷書の学習 孟法師碑・顔勤礼碑 魏靈藏造像記 薦季直表・染穀論 漢字の書制作	
5月	甲骨文 篆書の作品の鑑賞と臨書  ペン習字 はじめに・基本練習 手紙・はがき 送り状・受付票	プリント 臨書作品  くらしのペン習字	11月	ペン習字 履歴書・申請書・ノート 金封・ポスター・原稿用紙 原稿用紙	創作作品  くらしのペン習字
6月	隷書の学習 乙瑛碑・曹全碑 居延漢簡・石門頌	プリント 臨書作品	12月		
7月		第1学期期末考査	1月	仮名の学習 仮名の書の特徴 高野切第一種 三色紙・大字表現 しおり・色紙	プリント 臨書作品
8月			2月	漢字仮名交じりの書 感じよう・考えよう 創造的な表現 自分の表現を目指して 表現と鑑賞	プリント 作品 創作作品
9月	草書の学習 李太白億旧遊詩巻・書譜 十七帖・忽恵帖	プリント 臨書作品	3月	ペン習字 しおり・色紙 行書練習帳	くらしのペン習字  学年末考査
	行書の学習 集王聖教序・温泉銘	プリント 臨書作品			

### 3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います ① 知識・技能                      ② 思考・判断・表現                      ③ 主体的に学習に取り組む態度  なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします ① 知識・技能                      [ 学習活動への取り組み・提出物の内容・考査試験 ] ② 思考・判断・表現 [ 提出物の状況(臨書作品・創作作品・プリント・くらしのペン習字等) ] ③ 主体的に学習に取り組む態度 [ 定期考査・提出物の内容 ]  年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------